

3年生が卒業し10日あまりが過ぎました。全校生8名の学校生活が現実のものとなり、皆さんはどのような気持ちで学校生活を送っているのでしょうか。

先日いわき市議会において、令和4年度末をもって大野中が閉校となることが正式に決まりました。閉校が決まったこと、生徒数がとても少ない学校になったことによって、皆さんの学びや活動が浅くて狭いものにならないようにしていきましょう。また4月からは、「新生大野中として新たなスタートを切る」という意識で学校生活を送っていきましょう。皆さんのことは学校の内外を問わず多くの人たちが見守り支えていきますので、失敗を怖がらずに安心してチャレンジしてください。そして、続けていくこと、思い切って変えること、新しく創り上げていくことの見極めを大切にして、潤いと変化のある生徒主体の学校生活を築いてください。

さて皆さんには何度か話しているように、日本ではこれから急速に人口減少と高齢化が進みます。新たな感染症や気候変動、自然災害のリスクも高まるかもしれません。AIの導入によって、現在の職業地図が大きく更新されるという可能性も少なくありません。「いい学校に行って大きな会社に入れば人生は安泰」と言われるような時代は終わり、生き方も働き方も実に多様な選択ができる時代を迎え、迷ってしまうかもしれません。

だからこそ皆さんに言いたい。

「世の中にはまだまだ知らない色んな選択肢があって、自分たちもその選択肢を選ぶことができる、色んな夢や志を描いていい」ということを忘れないでください。

そのために、「さっきの自分よりちょっと自分が好きになる」「さっきの自分より何かできそうな気がする」「広い世界のことをもっと知りたくなる」「目の前の勉強や取組にもっと一生懸命になれる」、そんなポジティブの連鎖が生まれる経験や学びの中に自ら飛び込んでください。

そして、格好いい大人や先輩、栄養価の高い本、本物の芸術や文化と出会うことによって、自分の地下深くに埋もれている「善き物語」を日の当たるところに引き出してください。

皆さんの今後の活躍を楽しみにしています。